

『がん哲学外来』15 周年 ～ 『俯瞰性と顕微鏡性の訓練』 ～

今年(2023年)は、2008年にスタートした『がん哲学外来』の15周年である。

筆者は、医学部を卒業して、癌研で研究をスタートした。その時の研究テーマは、肝発がんであった。化学物質による化学肝発がん、B型肝炎ウイルス（HBV）によるウイルス肝発がん機構であった。発がん研究は、山極勝三郎（1863-1930）の『人工発がん』（1915）、吉田富三（1903-1973）の『肝がん創成』（1932）と日本国は世界的な業績がある（画像）。日本国は化学発がんの創始国である。20世紀は『がんを作る』時代であった。21世紀は『がんを遅らせる』研究で再び、日本国は世界に貢献する時にあると思う。

筆者は、アメリカ留学時代『遺伝性がんの父』Knudson(1989-1991)博士との出会いが与えられ（画像）、遺伝性がんの研究へと進み、その流れから発見した遺伝子が正常中皮細胞に発現しており、アスベストが原因で生ずる中皮腫の患者の血液で上昇することが判明した。丁度その時（2005 年）、クボタショックが起こった。そして、順天堂大学で我が国で最初の『中皮腫外来』（2005 年）を開設した。患者の問診をした経験が『がん哲学外来』（2008 年）に結びついた。自分の思いを超えた まさに『見えざる手の導き』を感じざるを得ない。

**『がん哲学外来 の心得』の3ヶ条**

- 1) 『他人の感情を尊敬することから生じる謙遜・慰撫の心』
- 2) 『濃やかな配慮』
- 3) 『欣然たる面貌、快然たる微笑』

**『がん哲学外来 の役割』の3ヶ条**

- 1) 『先見性と器量の育成』
- 2) 『俯瞰性と顕微鏡性の訓練』
- 3) 『個性と多様性の提示』

まさに、『自分の力が人の役に立つと思う時は進んでやれ』の実践であろう。

## 記念講演

山極勝三郎博士  
人工がん創生 100 周年  
「がん治療の精神」



「癌出来つ 意氣昂然と 二歩三歩」

山極圓三郎(やまぎわ かつさぶろう)博士(1863年ー1930年)は、上田市出身で、人工がん研究のパイオニアとして知られ、がん基礎研究分野で多大な貢献をされた医学者です。

6月18日(木) PM3:45 ~ PM5:00

会場：ささや

**入場無料**  
先着 100 名様  
要申込み

ひ の おき お  
樋野 興夫 氏

順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授、医学博士  
一般社団法人 がん哲学外来理事長

略歷

1954 年、最根生誕。順天堂大学医学部病理・腫瘍学講座教授、順天堂大学大学院医学研究科環境・人間分野分子病理学教授、医学科博士。一般社団法人が「がん学外来理事、日本癌学会理事、第 99 回日本病理学会会長、日本癌学会理事兼がん管理部長、がん学外来市民学会代表ほか。2008 年 8 月日本で初めて「がん学外来」を開創し、翌年 NPO 法人の設立を経て、2013 年一般社団法人ががん学外来を設立。不安を抱えた患者さんへ対話を通じて支えたい」という思いでの開業活動は、大きな反響を呼び、全国に「がん学外来」が開設されている。

■お申し込みは・・・TEL.0268-26-3900（上田西ロータリークラブ事務局）

[illegible]

め、さらに「日本医療振興会」を設立し、日本に「西洋医学」を普及させることに努めた。吉田博士は、人々の健康を第一とし、その健康を害する原因を究明し、これを治癒することに努めた。その結果、日本に「西洋医学」が普及し、人々の健康が向上した。吉田博士の功績は、日本に「西洋医学」を普及させたこと、人々の健康を第一としたこと、その健康を害する原因を究明し、これを治癒することに努めたこと、その結果、日本に「西洋医学」が普及し、人々の健康が向上したこと、人々の健康を第一としたこと、その健康を害する原因を究明し、これを治癒することに努めたこと、その結果、日本に「西洋医学」が普及し、人々の健康が向上した。



恩師 佐々木隆興先生と

7

[illegible][illegible][illegible][illegible]

吉田富三博士を偲ぶ

順天堂大學名譽教授

樋野興夫

GENES  
CHROMOSOMES &  
CANCER



Volume 38, Number 4  
December 2003

Editors-in-Chief  
Felix Mitelman  
Janet D. Rowley

Guest Issue Editors  
Joseph R. Testa, PhD  
Okio Hino, MD, PhD

Article published online in Wiley InterScience  
8 October 2001

WILEY-LISS  
ISSN 1043-2297

InterScience®